

＜靈的備え＞

あなたを慕い求める人たちがみな あなたにあって楽しみ 喜びますように。
あなたの救いを愛する人たちが 「主は大いなる方」と いつも言いますように。
私は苦しむ者 貧しい者です。主が私を顧みてくださいますように。
あなたは私の助け 私を救い出す方。わが神よ 遅れないでください。(詩篇 40:16-17)

＜理解の手引き＞

主はアブラムと契約を結ばれたにもかかわらず、中々子どもが与えられませんでした。約束は必ずしも、すぐに実現するとは限りません。私たちは、ここで「待つ」という信仰の訓練を受けなければなりません。しかし、多くの場合、この待つことができずに、人間的に判断し、行動を起こして失敗をするのです。アブラムとサライがそうでした。

恐らく、彼らは、自分の女奴隷ハガルによって子孫を残すことが、主のご計画であると考えたのでしょう。当時の古代オリエントの風習では、妻が子を産まなかった場合、女奴隷を側室として与えなければならない規定となっていました。

しかし、その結果、ハガルはサライを見下げるように成りました。こうして今まで良かったハガルとサライとの関係、更にはアブラムとサライとの関係がぎくしゃくしたものとなっていったのです。

＜考えてみよう＞

(観察) サライの提案の結果(2節)、アブラム(アブラハム)の家庭にどのような問題が生じましたか？

.....

.....

.....

(解釈) 何故、このような問題が起こったのでしょうか？ その根本的原因は何ですか？

.....

.....

.....

(適用) 主はこの問題を、どのように解決しましたか？ あなたはここから何を学びますか？

.....

.....

.....

＜心に残ったみことばや気づき＞

.....

.....

.....

＜今日の祈り＞ (教えられたことを短い祈りで表す)

.....

.....